

2011 年度事業報告書

2011 年 4 月 1 日から 2012 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人大津夜まわりの会

1 事業の成果

以前より当事者の間から「地域に馴染むのが難しい。自分たちがくつろげる場所が欲しい。」という要望があった。2010 年度より、それに応えるべく様々な模索を行ってきた結果、サロンという形がよいだろうということになり、設立を目指して活動してきた。その結果、「平成 23 年度しが地域支え合いづくり促進事業」補助金を受け、2011 年 7 月 2 日、大津市膳所 1 丁目 10-4 に「ひまわりサロン」を開設した（平日 10 時～16 時）。この補助金事業では延べ 2200 名を超える方を対象に事業を行い、当事者にとって充実した相談活動、日常の居場所確保、自立の支援を行うことが出来た。立寄った元ホームレスの方の感想として、「実家に帰ってきたようで落ち着いた。」「皆の顔を見られて元気になった。」という声があった。また、感情を爆発させやすい傾向のある当事者がサロンで様々な人と出会い、協力したり衝突したりグループディスカッションをしたりということを繰り返す中で少しずつ自分の感情をコントロールできるようになっていった。いつでも気軽に立ち寄れたり、相談したり、仲間と励ましあったり、仕事が決まるなどいいことがあれば皆で祝いあうなどできるということが大きな効果を生んだと考えられる。

補助金事業内で様々な講座、ボランティア等を行い、元ホームレス等当事者にも積極的に参加してもらった。これらの活動を通して、「自分はこういう仕事がしたい、そのために職業訓練を受けたい。」「剪定や農業を仕事にしたい。」といった自立への意欲や、「今まで関心に向けてこなかったが、剪定の講座を通して庭木の良し悪しが分かるようになった。」「美味しいコーヒーを飲むことでほっとできた。」「草引き一つをとっても、いろんなやり方があることが分かった。」といった文化的生活への意欲を大きく喚起することが出来た。

また、翌年以降のサロン維持に向けて、支援者を募り（正会員 9 名が新たに加入）、しが NPO センターや淡海ネットワークセンターなど中間支援団体や各種団体と連携強化を図った。

新しくサロンを開設し、また NPO 法人に移行する前の任意団体の頃から数えて 10 回目の越冬支援となったこともあり、メディアより多数の取材があった。（京都新聞、毎日新聞、朝日新聞、中日新聞、読売新聞、産経新聞、赤旗新聞、滋賀民報、生協や大津市市民活動センター等の広報誌、NHK 等）。他団体の主催するシンポジウムなどにも積極的に参加し、広報啓発活動を行った。

明らかになった今後の課題

(1) 人が集うと、対人的に問題が生じやすい。

①社会情勢の変化によりホームレスとなる方の層に変化や年代の違いがある。

②年代や生育環境等の違いによって自然にグループができる。

(2) 相談者の多くが高卒未満（高校中退、中卒）の学歴で、特にこれといった資格もなくなかなか正規雇用結びつかない。基礎学力に難があるため職業訓練も難しいという状況。

(3) サロンの維持に向けた財源確保。

以上の3点である。

課題への対応

(1) は無理に一つの集団にしようとせず、年代や生活スタイル、性格などに応じて複数のグループが出来たとしても、支援者が問題解決の支援やアドバイスを行ったり、落ち着いた雰囲気サロンの維持するよう心がけたりすることで、夜まわりの会として支援、連絡や行事等を円滑に行えるようにする。

(2) 当事者を支援するための学習支援が必要だが、当会単独ではそのような支援は難しい。他団体と協働で、これらの問題に対処できないか今後検討する。(ATLAS、全教、反貧困ネットワークなど)

(3) 対策として正会員を募り、人員財政両面から法人運営の安定化を図る。また、自主事業についても来年度以降検討する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
① 相談事業 ③ 連絡調整事業 ⑨ 権利擁	1. 相談支援事業 生活困窮に陥っている人に対し、電話相談や直接面談を行い、解決にむけての提案、年金・福祉サービス手続きの支援・同行などを行う。 2011年4月28日～2012年3月31日の新規ケースは61件。6割ほどが、ホームレス脱却＝生活保護申請＋住居確保支援ケースである。 社会福祉協議会からの紹介に次いで、市民活動センター窓口、子ども家庭相談センター、医療機関ソーシャルワーカー、反貧困ネット、奏からの紹介等である。 公園で耳にし、又越冬支援の新聞記事を読み、なんとか自力でサロンに辿り着いた人もあった。 その他、弁護士から5件、保護観察所から3件の支援要請があった。貧困やホームレスの結果、僅かな食料を盗み、又、アルコールや家族間の諍いによって問題を起こし、罰金刑を終えた後、再びホームレスに舞い戻ることを防止するための依頼である。	4月1日～3月31日	大津市全域	約10名	ホームレスや生活に困っている方等約150名延べ約500件(新規相談61名、内37名がホームレス脱却相談)	373

護 事 業	年度当初は鳥居川アパートが利用できたため、とりあえずの入居相談が野洲市より数件あったが、サロン立ち上げ時期と相前後した頃からの大津市からの不承認により、住居提供だけの相談は減少している。 同じアパートに住む当会員の紹介により、「生活保護受給中だが聴聞委員会で廃止になりそう。どうしたらいいか、」という相談も数件あった。他団体の就労プログラムを受けた経歴の人もあり、他団体の支援の不十分さを補完しているような印象も持った。 サロンという場ができたことにより、アパート生活移行後の拠り所となるなかで、継続した生活支援ができています。日頃のサロンでの交流を通して、お互いの協力・励ましあい・支えあいの中から、次のステップに踏み出す契機となることも度々であった。 福祉事務所への同行に留まらず、アパート仲介業者、ハローワーク、働き暮らし応援センター、発達支援センター、受診等々関係各機関への同行支援と協働、又、刑務所内や入院中の病院での面接等、サロンという拠点があるからこそできた支援もあった。					
① 相 談 事 業 ③ 連 絡 調 整 事 業 ④ 社 会 福 祉 調 査・ 研 究 事 業 ⑤ 広	2. 社会的居場所と社会的仕事づくり事業 (2011年度しが地域支え合いづくり促進事業補助金を受け実施) ※大津夜まわりの会主催のイベントと他団体主催の講演会などでの発表は後述 (1) 生活困難な人に対する地域定着事業 ①平日サロンを開設し(2011年7月2日開所)、当事者、地域の方、支援者、ボランティアの方が集う社会的な居場所づくりと同時に悩み事相談(相談延べ477回)などを行った。 ②当事者の社会への関心、社会的スキルを高める。 ・人との関わり方を学ぶ。 ・自立に向けた勉強会やセミナーを9回開催した。 (2) サポーター養成事業 当事者や新たに相談に来る、困難な生活課題を抱える人の地域定着、社会的仕事へのサポートなどを一緒に行うサポーターを養成した。また、他機関との連携強化を図った。 実施方法:大津市市民活動センターや滋賀弁護士会館で2〜3時間の講義を行う。社会福祉専門職、地域で活動される方、その他相談援助事業や相談援助の研究者、貧困問題を取材している映画監督などに講師を依頼した。 講演・シンポ等(大津夜まわりの会主催):6回実施 フィールドワーク:3回実施 地域の方の参加:無料マッサージボランティアを当事者と地域の方を対象に行った。また元民生委員の方など多様な支援を頂い	5月24日～3月31日	大津市 全域	スタッフ3名 事務局6名 イベントボランティア約50名	ホームレス等生活に困っている当事者・支援者・福祉関係者・市民延べ約2,260名	3,576

報・啓 発 事 業 ⑧ 就 労 自 立 支 援 事 業 ⑨ 権 利 擁 護 事 業	た。 他団体の主催する講演会等で発表:5回 結果:7月以降新たに正会員9名が加入し、地域で活動される個人の方や「他機関との連携」欄にあるように多様な機関と連携強化を図った。 (3) 社会参加の創出事業 当事者の社会参加、引きこもり予防、就労準備として社会的仕事をつくった(社会的仕事参加述べ223名)。また、技術指導も行った(草引き2回清掃1回剪定4回接客2回、計9回実施)。 ・草引き実習2回を受け清掃活動(膳所地域の駐車場草刈り、道路清掃等) ・当事者宅等への掃除等家事の援助。 ・講師の指導を受け、膳所小学校で入学式に備え垣根手入れと松剪定ボランティアを行った。 他団体と連携してボランティア活動を行った。 浜大津明日都で行われた若者フェスタに参加。 京阪電車のラッピング貼り、ラッピングはがしボランティアに参加(2回)。 ヒマラヤングリーン主催の林業ボランティアに参加(2回)。 反貧困ネットワーク主催の学用品寄附運動に、荷物運搬で参加。 <u>※事業参加においては事前に学習会を3回程度行い、また、終了後振り返り学習を開催。</u> 他機関との連携 行政、地域包括支援センター、滋賀県・大津市社会福祉協議会、医療関係(膳所診療所、大津赤十字病院、大津市民病院、いわくら病院、琵琶湖病院)、障害者関係等の団体(大津働き暮らし応援センターHatch、大津市立やまびこ総合支援センター、大津市発達障害者相談支援センターかほん)、司法機関(法テラス、地域生活定着支援センター、保護観察所)、滋賀県警など、ハローワーク、有料職業紹介所(ハズコレクション)、当事者団体(びわこダルク、AA、断酒会、かがやき等)、支援団体(COMPASS、フードバンク近畿、民間支援者ネット)、中間支援団体(大津市市民活動センター、しがNPOセンター、淡海ネットワークセンター)などとの連携強化をはかった。また協働団体「大津しごと・きずな応援事業(奏)」に参加。 社会的居場所と社会的仕事づくり事業イベント一覧 ①社会的居場所づくり 当事者向けお披露目会 サロン紹介・説明 当事者調理による昼食会、生活の知恵交換会					
		7月24日	かざぐるま会館	10名	約20名	
		8月14日	ひまわり	3名	11名	

「認知症予防講座」(講師 クローバー 渡辺哲弘)	日	サロン		
	8月31日	ひまわり	5名	9名
「福祉的就労について」(講師 OSK 中野徹)※台風の為参加者とのマンツーマン指導に変更 加藤医師を招いて懇談会「病気に備える」	日	サロン		
	9月21日	ひまわり	5名	1名
他団体(びわこダルク)と交流会	日	サロン		
	10月25日	ひまわり	5名	9名
就労に向けた取り組み紹介 ホワイトクラブ(講師:所長 秋山氏)	日	サロン		
	11月3日	ひまわり	5名	38名
餅つき交流会	日	サロン		
	11月15日	ひまわり	4名	6名
今年度の総括と来年の抱負	日	サロン		
	1月26日	かざぐるま会館	3名	約20名
当事者と地域の方を対象にマッサージボランティア 中川氏	日	かざぐるま会館	3名	約20名
	3月20日	かざぐるま会館		
島田氏	7月から12月にかけて8回	ひまわり サロン	4名	延べ約20名
	8月から12月にかけて4回	ひまわり サロン	5名	延べ約10名
②サポーター養成講座 シンポジウム	6月19日	大津市 市民活動センター会議室	7名	約20名
・「社会的居場所と社会的仕事づくりの意義」 NPO 法人大津夜まわりの会理事 田中 聡子 ・「社会的居場所に期待すること」 夜まわりの会サポーター(当事者) ・「お互い様の居場所作り」 雄琴学区社会福祉協議会会長 小倉 勝世氏 ・「NPO が仕掛ける協働の仕組み～孤立予防と参加～」 NPO 法人京都ほっとはあとセンター 事務局次長 生田 一朗氏 サロンお披露目会 ご町内へのご挨拶	7月2日	相模川 会館	約10名	約20名
相模川町内会草刈りボランティア(フィールドワーク)	8月11日	膳所本町 駐車場	約10名	当事者約10名 +南相模川町内

講演会「希望をもって生きる～釧路チャレンジ～」講師：櫛部氏	10月2日	滋賀弁護士会館	5名	約20名
当事者研修、ボランティア育成	10月～11月	ひまわりサロン	5名	3名
夜まわり実施 浜大津～膳所公園(フィールドワーク)	12月23日	浜大津～膳所公園路上	4名	7名
ホームレス3名と出会った。 年末生活支援～越冬支援もちつき大会～(フィールドワーク)	12月25日	膳所支所	約20名	約150名
シンポジウム「貧困の連鎖を断ち切る生活支援と学習支援」 プレゼンター ・田中聡子(県立広島大学) ・藤井史子(NPO 法人大津夜まわりの会) ・犬飼公一(全国学習会ネットワーク) ・井原千晶(立命館大学大学院生) 主催：NPO 法人大津夜まわりの会・全国学習会ネットワーク(JLSN) 映画「渋谷ブランニューディズ」上映会と監督講演 講師：映画監督 遠藤大輔	1月8日	大津市市民活動センター会議室	5名	約30名
以下 他団体主催のシンポ等に参加しての発表 大津市市民活動センター開設5周年記念事業 のパネル展に参加 パネルと口頭で活動紹介 主催：大津市市民活動センター 地域福祉活動フォーラムinしが 分科会にて活動紹介 主催：滋賀県社会福祉協議会	3月17日	滋賀弁護士会館	5名	約50名
全国校区・小地域福祉活動サミットin宇治 分科会にて活動紹介 主催：「全国校区・小地域福祉活動サミットin宇治」実行委員会 「一人ひとりが出来ること あなたの寄附から始まる絆」にて活動紹介 主催：財団法人淡海ネットワークセンター 第30回滋賀県社会福祉学会 第5分科会 にて発表 主催：滋賀県社会福祉協議会	8月20日	大津市市民活動センターロビー	3名	約10名
	11月18日	滋賀県立長寿福祉センター	4名	分科会聴衆：約20名
	11月26日	宇治市文化センター	2名	分科会聴衆：約150名
	1月28日	ピアザ淡海	2名	聴衆：約200名
	2月22日	滋賀県立長寿福祉セン	2名	分科会聴衆：約50名

寄り添いホットライン相談員研修 にて講演 主催:寄り添いホットライン	2月25日、26日	ター	2名	聴衆:約30名
③社会的仕事づくり 若鮎の家で草引き実習2回	10月	若鮎の家	2名	延べ8名
清掃講習会 講師 坂本氏(しが障害者就労支援センター ホワイトクラブ)	10月23日		1名	3名
若者フェスタ 主催:大津市市民活動センター	11月13日	明日都浜大津	約15名	当会よりのボランティア約15名+明日都利用者
剪定講座第1回:剪定の心構えと道具の使い方 講師:樹山氏	2月8日	ひまわりサロン	4名	8名
剪定講座第2回:樹の知識 講師:樹山氏	2月15日	ひまわりサロン	4名	8名
剪定講座第3回:剪定の技術について(初歩) 講師:樹山氏	2月29日	ひまわりサロン	4名	8名
コーヒー・接客講座第一回:おいしいコーヒーの淹れ方 講師:松本氏(コーヒーマイスター)	3月25日	ひまわりサロン	5名	7名
剪定講座第4回:膳所小学校で垣根と松の剪定ボランティア 講師:樹山氏	3月27日	膳所小学校 校庭・駐車場	2名	4名
コーヒー・接客講座第二回:接客業について 講師:松本氏(コーヒーマイスター)	3月28日	ひまわりサロン	5名	8名

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)
	なし				

2011年度 活動計算書
2011年4月1日から2012年3月31日まで

特定非営利活動法人

(単位: 円)

科目	金額		
I 経常収益			
1 受取会費等			
受取入会金	44,000		
正会員受取会費	95,000		
賛助会員受取会費	19,000		
受取会費等 計		158,000	
2 受取寄附金等			
受取寄附金	466,565		
貯蔵品受贈益	97,602		
受取寄附金等 計		564,167	
3 受取助成金等			
受取補助金	3,500,000		
受取助成金等 計		3,500,000	
4 事業収益			
事業収益 計			
5 その他収益			
バザー収入	16,000		
利用者負担金収入	29,000		
受取利息	74		
雑収入	273,963		
その他収益 計		319,037	
経常収益計			4,541,204
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
謝金	548,000		
人件費計	548,000		
(2) その他経費			
生活支援費	49,823		
ゴミ運送費	86,773		
事務費 (事業費分)	70,225		
通信費 (事業費分)	291,175		
借上費 (事業費分)	450,000		
改修費	629,170		
食料品費	680		
備品費	396,792		
消耗品費	454,544		
会議費	209,331		
交通費 (事業費分)	522,268		
その他経費計	3,160,781		
事業費計		3,708,781	
2 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
借上費 (管理費分)	82,500		
通信費 (管理費分)	45,949		
光熱水費	88,584		
交通費 (管理費分)	2,800		
事務費 (管理費分)	6,728		
貸倒損失	7,000		
雑費	6,369		
その他経費計	239,930		
管理費計		239,930	
経常費用計			3,948,711
当期経常増減額			592,493

Ⅲ 経常外収益			
経常外収益計			0
Ⅳ 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			592,493
当期正味財産増減額			592,493
前期繰越正味財産額			7,675
次期繰越正味財産額			600,168

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

(1) 現預金以外の寄附について

①テレホンカード・切手等、額面が明示されているものについては貯蔵品受贈益（収益）、貯蔵品（資産）として活動計算書及び貸借対照表、財産目録に記載する。

②中古家電や食料品等物品は金銭価格算定が難しいため当面活動計算書に記載せず、記録があるもので重要性の高いものを注記する。

(2) 備品等固定資産について

10万円以上の物を各表に記載し減価償却する。減価償却は定額法・間接法で行う。

10万円未満の物については入手時に同額の費用で処理（「備品費」等）し、固定資産としての価値は評価しない。

ただし、重要性の高いものは注記する。

(3) ボランティア受け入れについて

①事業に必須で、相当金額を合理的に推定できるものは注記する。

人件費は以下の式で算定する。

（滋賀県の最低賃金に保険料等として15%割増したもの）＊（1日の勤務時間）＊（日数）

②金額換算が難しかったり、会計上の重要性が高くないなどで注記しない分については、活動報告書を参照すればおおよそ把握できるようにする。

(4) （一般正味財産の部）と（指定正味財産の部）の区分について

当面、活動計算書上では区分せず、部門別会計等の形で注記する。

2. 個別事例の記載

(1) 複数の団体個人より玄米300kg以上、もち米50kg以上をはじめとする食料品や衣類等多数の寄附を頂いた。イベントや食料支援等に使用した。

(2) 複数の団体個人より、中古の電化製品（冷蔵庫・炊飯器各個程度、電子レンジ3個、DVDプレーヤー2台等）や家具（事務机セット3個、ロッカー3個等）、食器類（食器棚含む）他多数の寄附を頂いた。

サロン運営や生活支援等に使用した。

(3) サロン運営スタッフが約2,119,450円分程度ボランティアを行った。

(3名*815円*5時間*202日間-謝金350,000円)

(4) サロン運営スタッフ以外でも多数のボランティアの協力を受けたが、会計上合理的な根拠に基づく推定が難しいため財務諸表には注記しない。活動報告書を参照。

(5) 以下の事業別会計における「社会的居場所と社会的仕事づくり事業」は「平成23年度しが地域支え合いづくり促進事業」補助金を受けて行ったもので、活動計算書に記載された補助金収入3,500,000円は全額同事業に使用した。

3. 事業別会計

勘定科目名称	全事業所	一般事業	社会的居場所と 社会的仕事づくり
《経常収支の部》			
〔経常収支の部〕			
【経常収入】			
入会金収入	44,000	44,000	0
正会員会費収入	95,000	95,000	0
賛助会員会費収入	19,000	19,000	0
補助金収入	3,500,000	0	3,500,000
寄付金収入	466,565	466,565	0
貯蔵品受贈益	97,602	97,602	0
利用者負担金収入	29,000	29,000	0
バザー収入	16,000	16,000	0
その他事業収入	273,963	273,963	0
受取利息収入	74	74	0
経常収入 計	4,541,204	1,041,204	3,500,000
【事業費】			
生活支援費	49,823	0	49,823
ゴミ運送費	86,773	0	86,773
事務費（事）	70,225	0	70,225
通信費（事）	291,175	0	291,175
借上費（事）	450,000	0	450,000
謝 金	548,000	106,000	442,000
改 修 費	629,170	0	629,170
会 議 費	209,331	19,300	190,031
交通費（事）	522,268	7,000	515,268
食料品費	680	680	0
備 品 費	396,792	0	396,792
消耗品費	454,544	0	454,544
事業費 計	3,708,781	132,980	3,575,801
経常収入－事業費	832,423	908,224	△ 75,801
【管理費】			
借上費（管）	82,500	82,500	0
通信費（管）	45,949	45,949	0
水道光熱費（管）	88,584	88,584	0
交通費（管）	2,800	2,800	0
事務費（管）	6,728	6,728	0
貸倒 損失	7,000	7,000	0
雑 費	6,369	6,369	0
管理費 計	239,930	239,930	0
経常収支差額	592,493	668,294	△ 75,801
〔その他資金収支の部〕			
【その他資金収入】			
繰入金収入	75,801	0	75,801
その他資金収入 計	75,801	0	75,801
【その他資金支出】			
繰入金支出	75,801	75,801	0
その他資金支出 計	75,801	75,801	0
当期収支差額	592,493	592,493	0
《収支差額の部》			
財産振替前当期収支差額	592,493	592,493	0
当期正味財産増加額	592,493	592,493	0
前期繰越正味財産額	7,675	7,675	0
当期正味財産合計	600,168	600,168	0

2011年度 貸借対照表

2012年3月31日現在

特定非営利活動法人大津夜まわりの会

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
(現金預金)			
現金	81,920		
普通預金	53,980		
(その他)			
未収金	510,000		
貯蔵品	64,268		
流動資産合計		710,168	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			710,168
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
謝金 宇治・滋賀等	20,000		
立替金	90,000		
流動負債合計		110,000	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			110,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		7,675	
当期正味財産増減額		592,493	
正味財産合計			600,168
負債及び正味財産合計			710,168

注記

1. 貯蔵品とはテレホンカードと切手を指す。

2. 入手価格10万円未満の固定資産

(1) 備品

①事務用品：ノートパソコン3台、プリンター2台、事務机3セット、FAX付電話機1台、ロッカー3個、デジカメ1台等

②作業道具：草刈り機1台、掃除機2台、草刈り道具1式、剪定用具3セット等

③その他：デジカメ1台

(2)ソフトウェア：MSoffice 3ライセンス、会計王NPOedition11 1ライセンス等

2011年度 財産目録

2012年3月31日現在

特定非営利活動法人 大津夜まわりの会

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金	81,920		
ゆうちょ銀行普通預金	53,980		
未収金			
正会費 2名	10,000		
社会的～事業補助金 未収金	500,000		
その他			
貯蔵品	64,268		
流動資産合計		710,168	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			710,168
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金			
未払金			
謝金 宇治・滋賀等	20,000		
立替金	90,000		
預り金			
流動負債合計		110,000	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			110,000
正味財産			600,168

注記

1. 貯蔵品とはテレホンカードと切手を指す。

2. 入手価格10万円未満の固定資産

(1) 備品

①事務用品: ノートパソコン3台、プリンター2台、事務机3セット、FAX付電話機1台、ロッカー3個、デジカメ1台等

②作業道具: 草刈り機1台、掃除機2台、草刈り道具1式、剪定用具3セット等

③その他: デジカメ1台

(2)ソフトウェア: MSoffice 3ライセンス、会計王NPOedition11 1ライセンス等